



令和2年度 仙北市立白岩小学校 学校だより 「夢にむかい 心ゆたかに たくましく」

三つ柏

— MI TSU KASHIWA NO.11 —

令和2年6月19日

上手にクルン。4年生の体操「マット運動」

今年度初の研究授業が、18日に行われました。運動が大好きな4年生が、後転、開脚後転に挑戦しました。一番の工夫が、二人組になってタブレットで技の動画を撮り合ったことです。それをスロー再生することで、自分がめあてにしていたことがうまくいったかどうかを確認できます。撮影した子も一緒に見て上手なところをほめたり、ここをがんばったらと助言できます。ICTのよさを実感できる授業でした。指導主事の先生からは、素直で運動のできる子供たちだとお褒めの言葉をいただきました。担任の先生が、穏やかにきめ細かく子どもたちに接しているのが、子どもたちの伸びやかな様子につながっているという指摘もありました。また、休み時間の子どもたちが元気で男女や学年の別なく遊んでいることは体育の面からもとてもよいことだということでした。先生方も新しい学習指導要領の要点について指導をいただきました。これからの体育の授業に生かそうと考えています。



見事!! こんなに足が開いています ペアの技をタブレットで撮影
操作が上手とほめられました

手足のつま先までぴんと のびています。



動画を再生して、自分の動きを確認したり
アドバイスをしたりしています。

伝言板

子どもたちの今後の教育環境を考える意見交換会 2021年度に

17日の秋田魁新報の「白岩小統合、意見交換へ」という市議会の一般質問についての記事を見て驚かれた方もいると思いますが、現時点で確認した点についてお知らせします。

市学校適正配置研究検討委員会が2016年12月にまとめた提出書では、小学校統合の検討に入るべき時期を「複式学級が継続して発生し全校児童が50人を下回る場合」としているが、2021年度の白岩小学校がこれにあてはまる。そこで、2021年度から、保護者や地域住民と意見交換会を行う。

熊谷教育長は「地域コミュニティーの核となっている白岩小の多様な機能性に配慮し、保護者や地域住民の声を細かく聞いていきたい。2021年度内に結論を出すことにこだわらない。」と答弁している。

以上により、統合すると決まったわけではなく、「白岩地区の子どもたちのこの後の教育環境はどうあればよいのか」の意見交換会を来年度から始めるのだということがわかります。

職員には、今まで通り、子どもたちが白岩小で学ぶことが楽しいと思ってもらえるように、保護者の皆様にも安心して子どもたちの指導を任せてもらえるように頑張りますと伝えてありますので、引き続きご協力お願いします。また、この件についてご質問がある場合は、学校までお寄せください。

角館の祭典 中止を受けて

楽しみにしている子どもたちも多かったと思いますが、残念ながら今年度の祭典が中止になりました。それを受けて、以前お知らせしたとおり、9月8日（火）と9日（水）は登校日となります。10日（木）は開校記念日ですので休みとなります。

学校の水道水 飲用できます

学校の水道水ですが、県保険事業団等の検査の結果、引用できることが確認されましたのでお知らせします。ご心配をおかけしました。（急遽、水筒の準備をしてくださった、おうちの方、ありがとうございました。）

玄関ホールに見事な花が

右のような見事な花を「秋田花の国づくり推進協議会」よりいただきました。秋田県産の花で、地域のお花屋さんが活けてくださいました。文字通り校内が華やぎ、子どもたちも喜んでいきます。学校においでの際はぜひご覧ください。

